

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 多田 智 (県道係長 松田 智)	内線	4 3 6 2 (4 3 7 6)
事業種目	道 路	事業名	事業区間	総事業費	4.6 億円
		道路改良事業 (一) 西脇口吉川神戸線	加東市下久米	内用地補償費	1.5 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
加東市下久米			平成 19 年度	平成 19 年度	平成 23 年度
事業の目的			事業内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・(一) 西脇口吉川神戸線は、西脇市の国道 175 号を起点に加東市、三木市口吉川町を経て神戸市北区に至る北播磨地域の幹線道路である。 ・当該区間は、線形も悪く、幅員が狭小であり、すれ違いが困難であるため、通過交通が(主)西脇三田線等へ迂回しており、周辺道路において交差点が渋滞し、事故が多発している。そこで、当該区間のバイパス整備により、(主)西脇三田線等からの交通転換をはかり、加東市の道路網の円滑かつ安全な交通を確保する。 ・また、合併により誕生した加東市における旧町間を連絡する道路ネットワークの整備により、新市のまちづくりに寄与する。 			道路改良(バイパス) L = 900 m 合併支援道路 【道路規格】 3種3級(山地部) 【計画幅員】 W = 6.0 (10.0) m(2車線+片側歩道) 【現況幅員】 W = 3.5 (4.5) m 【計画交通量】 5,700 台/日(H42 推計値) 【現況交通量】 100 台程度 【自転車歩行者交通量】 若干名		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心の確保する 道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・当該区間は山地部を通過していることから、幅員が狭小で乗用車の離合も困難であり、線形も悪く、視距も確保されていない。このため、バイパス整備により円滑かつ安全な車輦の通行を可能にする。 ・異常気象時の事前通行規制区間の解消を図る。 ・(主)西脇三田線等への迂回交通量を減少させ、周辺道路における渋滞緩和・交通事故削減を図る。 			
くらしと交流を支える 道づくり		<ul style="list-style-type: none"> ・西脇市と神戸市を結ぶ西脇口吉川神戸線を整備することにより、地域間交流・連携の強化が図られる。 ・加東市の合併支援道路に位置付けられている。 			
(2)有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・費用便益比 B / C = 1 . 9 ・本整備により、起点の西脇市から加東市内は2車線改良済みとなる。 			
代替性		<ul style="list-style-type: none"> ・現道拡幅に比べ、経済性、施工性(通行止不要)において優れている。 			
効率性 (事業執行環境)		<ul style="list-style-type: none"> ・地元住民の要望が強く、境界確定、地図訂正などの同意についても地区内、地区外地権者の理解も得られており、5年完成システムのモデル事業として整備を行う。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・法面には、周辺植生に配慮した緑化を行い環境への影響を最小限に留める。 ・掘削残土については、(国)372号社・野村河高バイパスの盛土工に流用する。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・関係市町及び地元関係地区の理解と協力体制が整っている。 ・接続する平地工区の改築工事が平成 17 年度に終了しており、早期の事業着手が求められている。 			